

## NPO法人手話教師センター 特別講演会

# 「日本手話の音節」

新しい手話の表現、なんだか違和感あるな。と誰もが感じたことがあると思います。  
日本手話には適格な音節と不適格な音節があり、どのような音節が典型的な適格な音節なのか手話教師として知っておきたい内容について専門家にお話しいただきます。  
多くの方にお聞きいただき、少しでも日本手話について知識を深めることに役立てていただけたら幸いです。

日 時：2018年12月8日（土）13:30～15:30（受付は13:10～）

場 所：AP西新宿 C会議室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目2番4号 新宿喜楓ビル5F

（最寄駅：新宿西口駅もしくは新宿駅）

定 員：100名

参加費：一般 1,500円 会員・サポーター・学生 1,000円（会員証・サポーター証・学生証提示で）

\*講師は音声日本語で話します。手話通訳がつきます。

\*テーマに関心のある方なら、どなたでも参加申し込みできます。



## 講師 原大介氏

1965年生まれ、東京都出身。早稲田大学第一文学部卒業（学士）、  
国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期過程修了（修士）・  
The University of Chicago, Department of Linguistics（シカゴ大学大学院言語学  
学部）修了（言語学博士）  
現在、愛知県名古屋市にある豊田工業大学教授。早稲田大学在学中より、手話と言  
語学に興味もち、手話音韻論に関して卒業論文を作成。国際基督教大学大学院に進  
み手話の研究を進め、手話形態論について修士論文を作成。日本で手話言語学を学  
ぶことに限界を感じ、1991年、手話言語学発祥の地であるアメリカに渡り、シカゴ  
大学で手話言語学を学ぶ。アメリカ手話・日本手話の音節の適格性に関して博士論  
文を作成。現在、豊田工業大学で英語を教えながら、日本手話音節の適格性、語形  
成、中間型手話の特徴、文末の指さし等について研究を行っている。  
2016年 Handbook of Japanese Applied Linguistics, GRUYTER MOUTON社（共著）  
2009年 『基礎から学ぶ手話学』, 福村出版（共著）  
2009年 『言語学の領域II（シリーズ朝倉「言語の可能性」2）』, 朝倉書店（共著）など



お申込みはこちらから

<https://goo.gl/forms/o74QDJ687P3QFWXr1>

下記QRコードからもお申し込みいただけます。



- \*参加費は当日、お支払いください。
- \*キャンセル料金は前々日までかかりません。
- \*前日及び当日のキャンセル料金は100%かかります。
- \*当日受付は参加費それぞれ500円増しとなります。

問い合わせ先

NPO法人手話教師センター

fax 03-4579-0518

honyaku@jsltc.org